

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	体育施設管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課			
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	金子 邦晃			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	スポーツ活動の基盤づくりの事務管理	意図	体育施設を円滑に運営し、利用者に快適に利用してもらう。
事業内容	体育施設管理を行うための事務管理・スポーツ活動の基盤づくり推進のための事業事務。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年4月から指定管理者制度を導入し、体育施設の管理運営を行っている。スポーツフィールドについては、無料の体育施設のため市が管理している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	施設の修繕やスポーツフィールドの管理業務を委託することで体育施設を円滑に運営することができた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 屋外体育施設は老朽化しており、突発的なものも含めて修繕費用は増えている。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		18,232,284	20,381,015	14,299,812			
事業費(b)(円)		16,850,284	18,875,015	12,926,812			
うち一般財源		16,850,284	18,875,015	12,926,812			
職員給与費(c)(円)		1,382,000	1,506,000	1,373,000			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	施設を点検し、計画的な修繕に努める。	③取組の課題	施設が老朽化していることから、計画的な修繕が必要となる。
②今年度(H28)に実施した取組	予算の適正な執行に努めた。	④今後の改善計画	引き続き、施設の点検を行い計画的に修繕に努めていく。